

插花丁後毛持

四

79
616
4





子

Large stylized calligraphic character '子' (Shi).

Small calligraphic flourish.

Small calligraphic flourish.

松川深江書

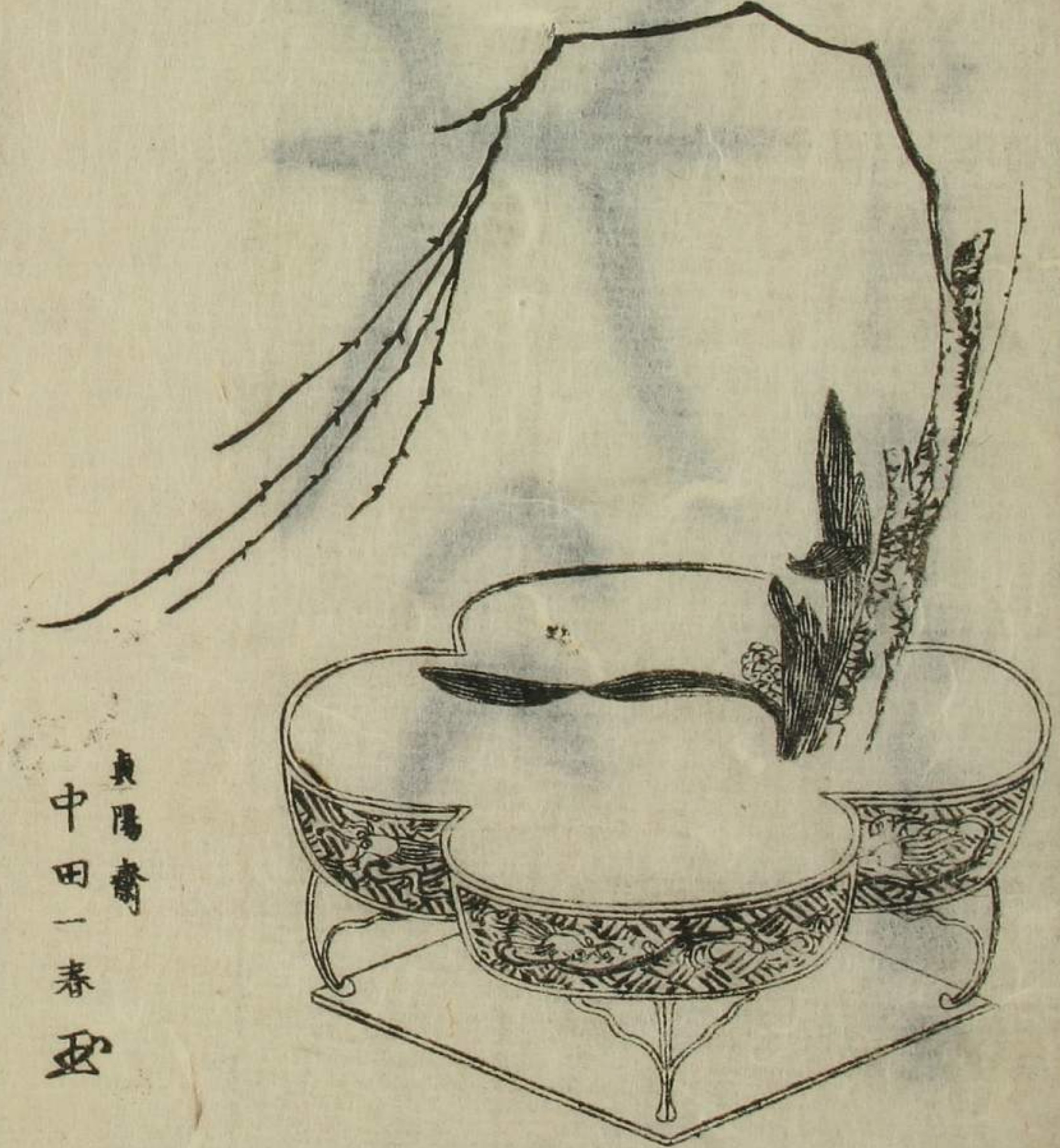


中四



松川深江書

柳
石中 信



貞陽齋
中田一春 画

石中 信



石川氏 女
水柳齋 一 画



植水

知井里露



牛乳
の
花

遠藤馬玉

花の
名

一
七

馬草
主雨



淺井如桂

柳
水仙



諸四氏
女李曉

わつて
らまふ



霍園馬源

桂
子



中山桂枝

花の書 卷之四



五
人
仙

黒田
帆
曉

花の書 卷之四



水
仙
五

上
毛
桐
生
玉
上
馬
水

冬
五



山手花

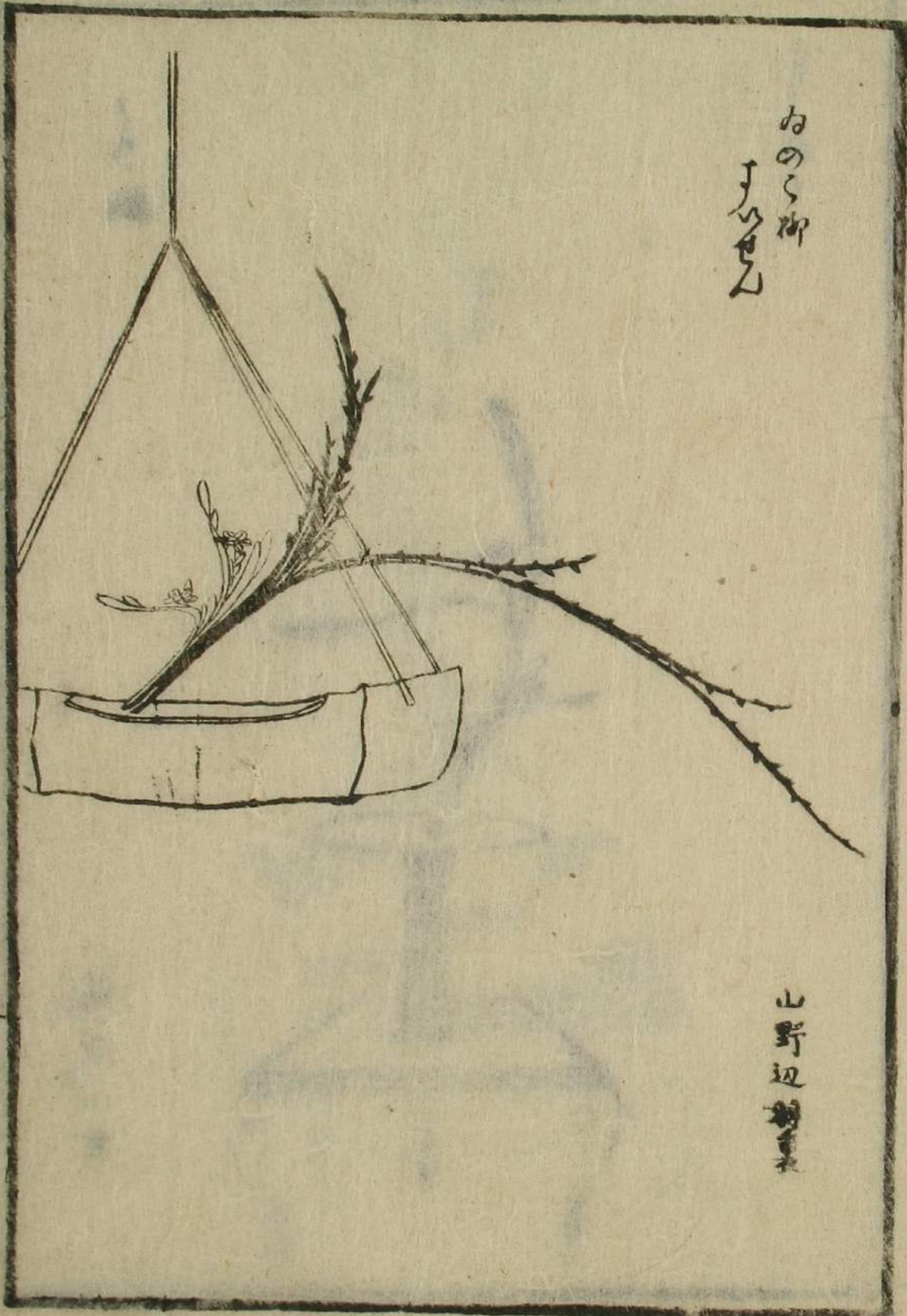
花入書目



南天
花

下谷
松平

長の葉目 菊の目

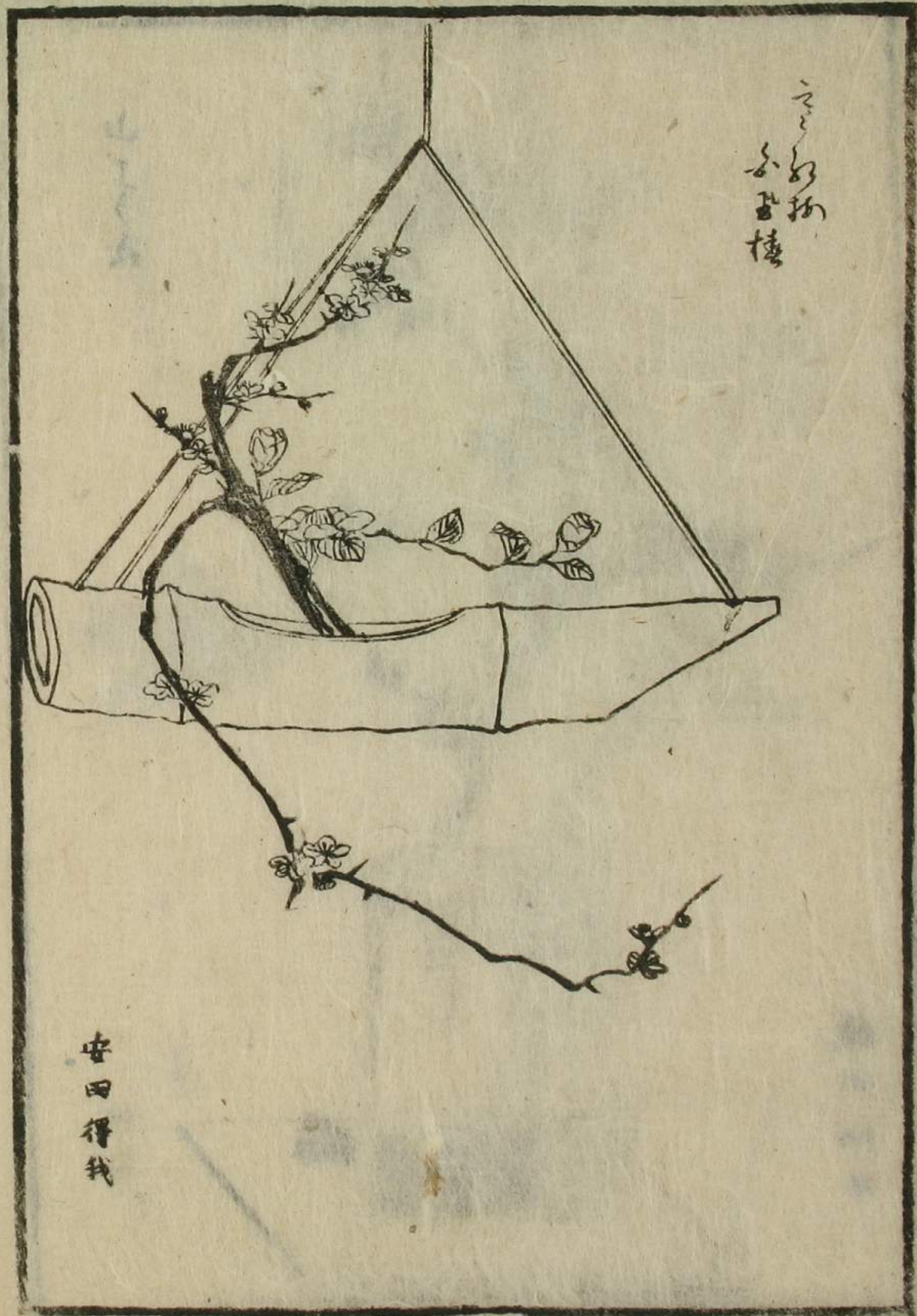


ねのら柳
丁ウヤ

山野辺柳葉

7/11

長の葉目 菊の目



さくら
小葉梅

安田得我

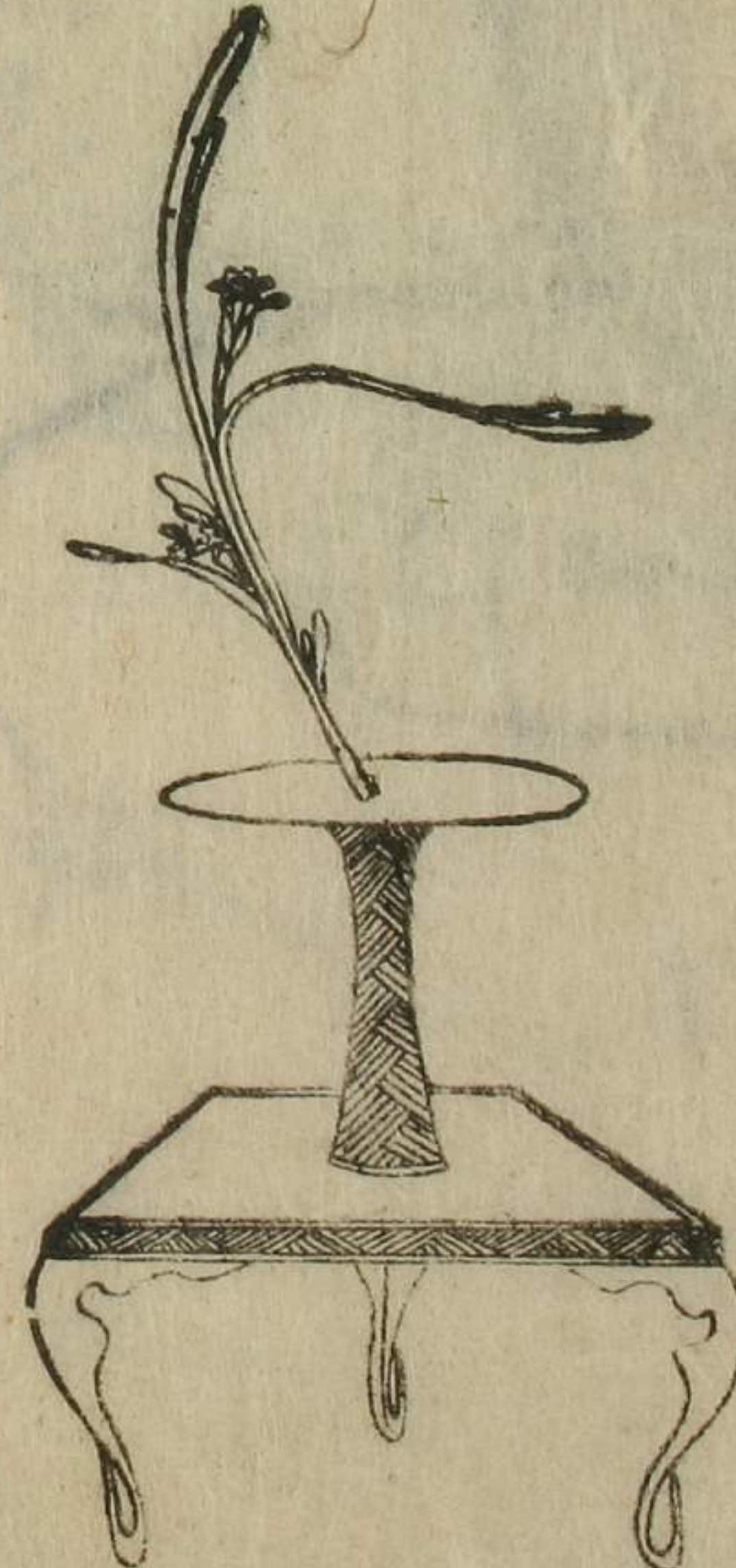
7/11

露鏡



山

山



萩原山里



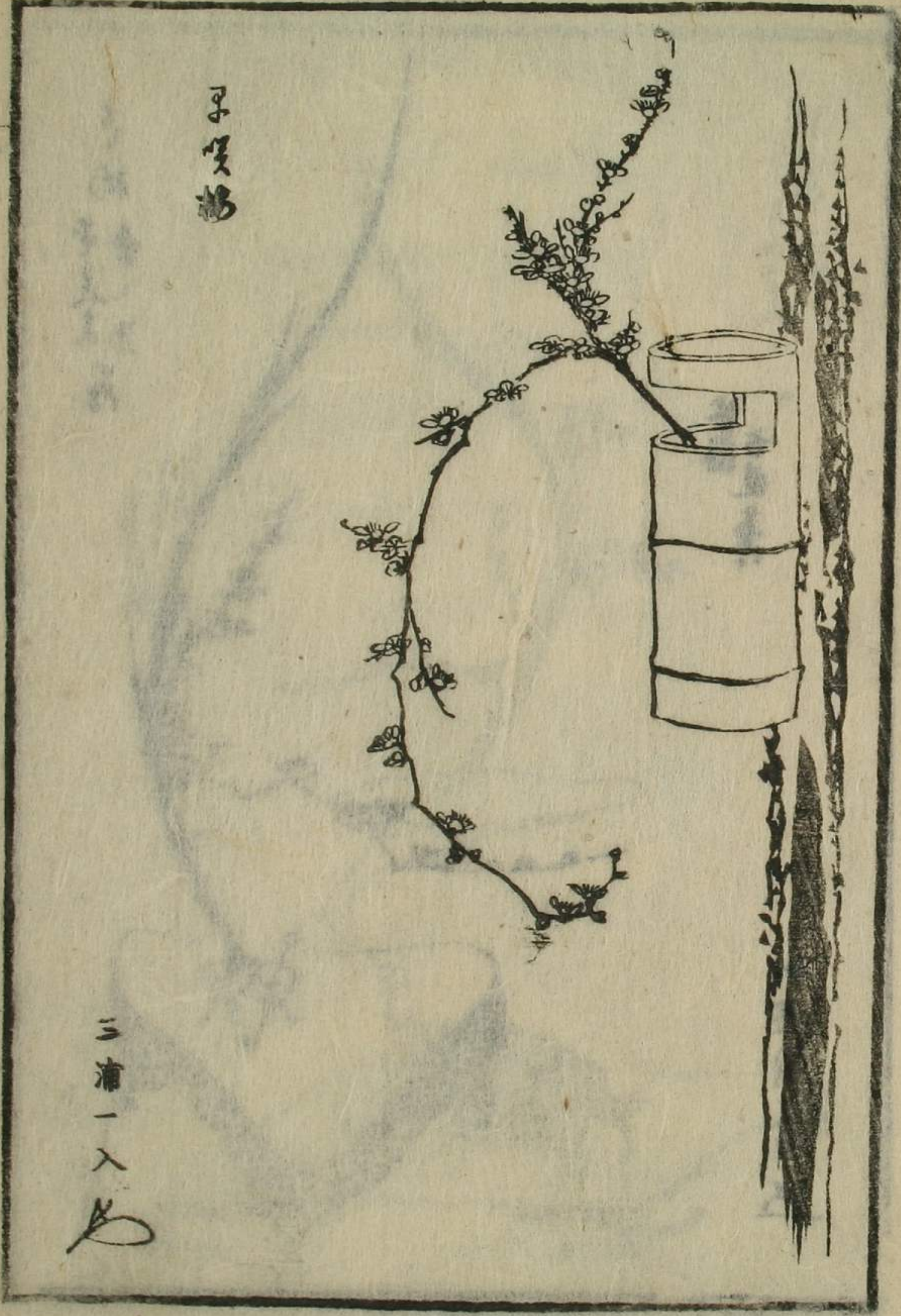
松
五仙

小川一亀翁



水仙
五仙

村松氏
女如柳



子笑梅

三浦一入



柳椿
白解

山崎一照

古物 曹公 口傳



茶園 古道 古物

松葉齋 一筆 五

古物 口傳



古物 口傳

中野 一筆 五

後乃香 卷之四

卷之四

如子

無三茶

游五精

溪 法 一 馬 公 氏 梁

後乃香 卷之四

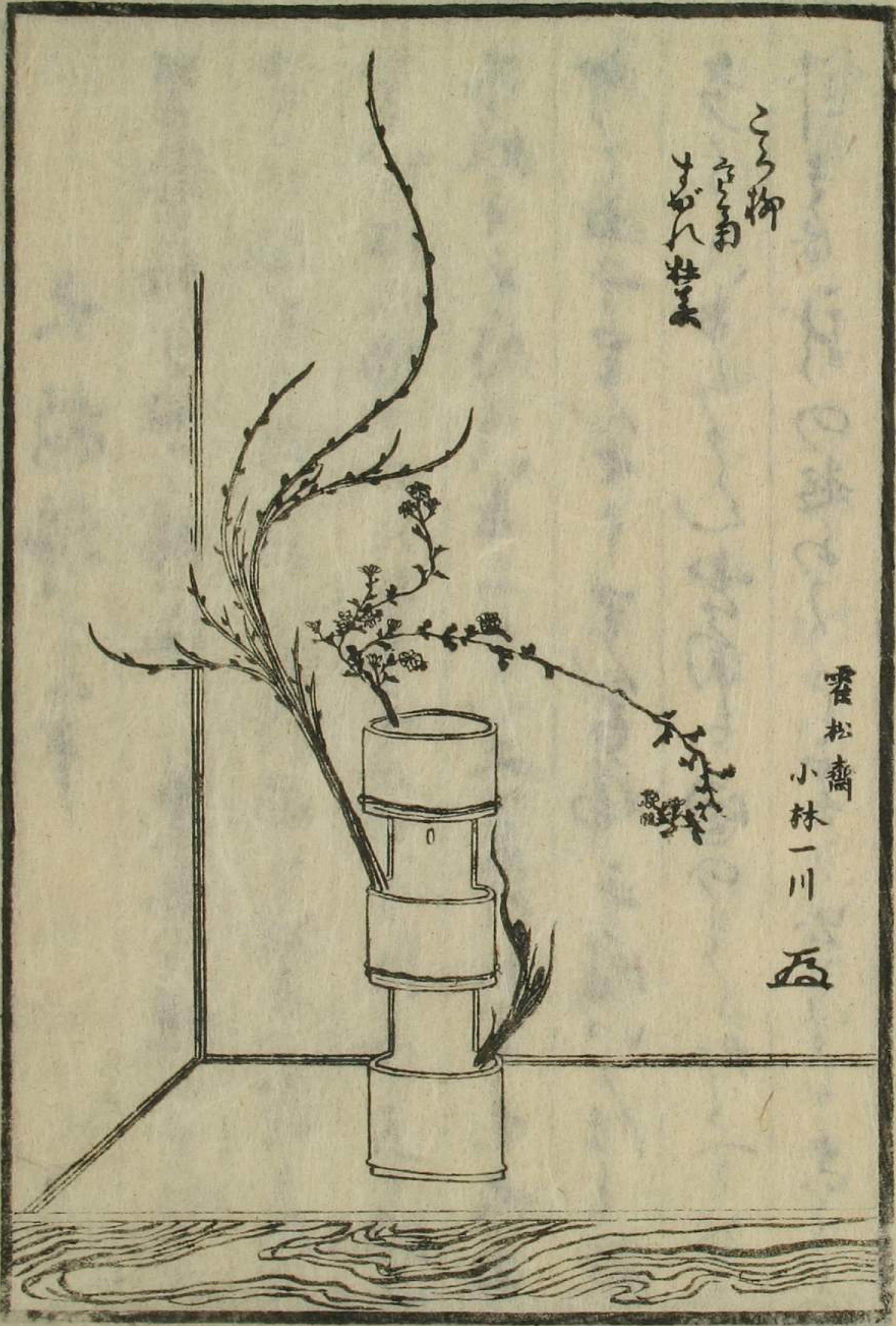
卷之四



冬物

扇松齋
鈴木一興

文の香 卷八 四



ころ柳
立石
大八井

霍松齋
小林一川
石

文の香

中物



賢居洋
貞重齋
横江一舞女

大救挿

子物に陰とぬき挿海一葉物と株の二つあり
 中に挿ありたよわくく人園と能く知時た
 一と一は挿くたおのく葉よりぬきも五十粒
 百粒もその解もい事くく又菊の葉を煮大菊
 節く五十里七十里百粒を解いんじぬ
 多くもい事くく少菊も園のくたてて今
 外き事法の起めくく言と出せるがさく

挿海一とく救挿のつらたきく但る方者口傳
 わり此ふ少頃去て海りぬきぬきまりのれ
 葉と花とく柳と教叶たもに何くく事
 所迄もて無く知ぬ海一勿偏救挿のぬき
 外ぬものくく一葉ふ人無く挿きん
 累代二之種りく併繪くく書く
 一と一は挿くたおのく葉よりぬきも五十粒
 百粒もその解もい事くく又菊の葉を煮大菊

貞松翁書

小菊如神



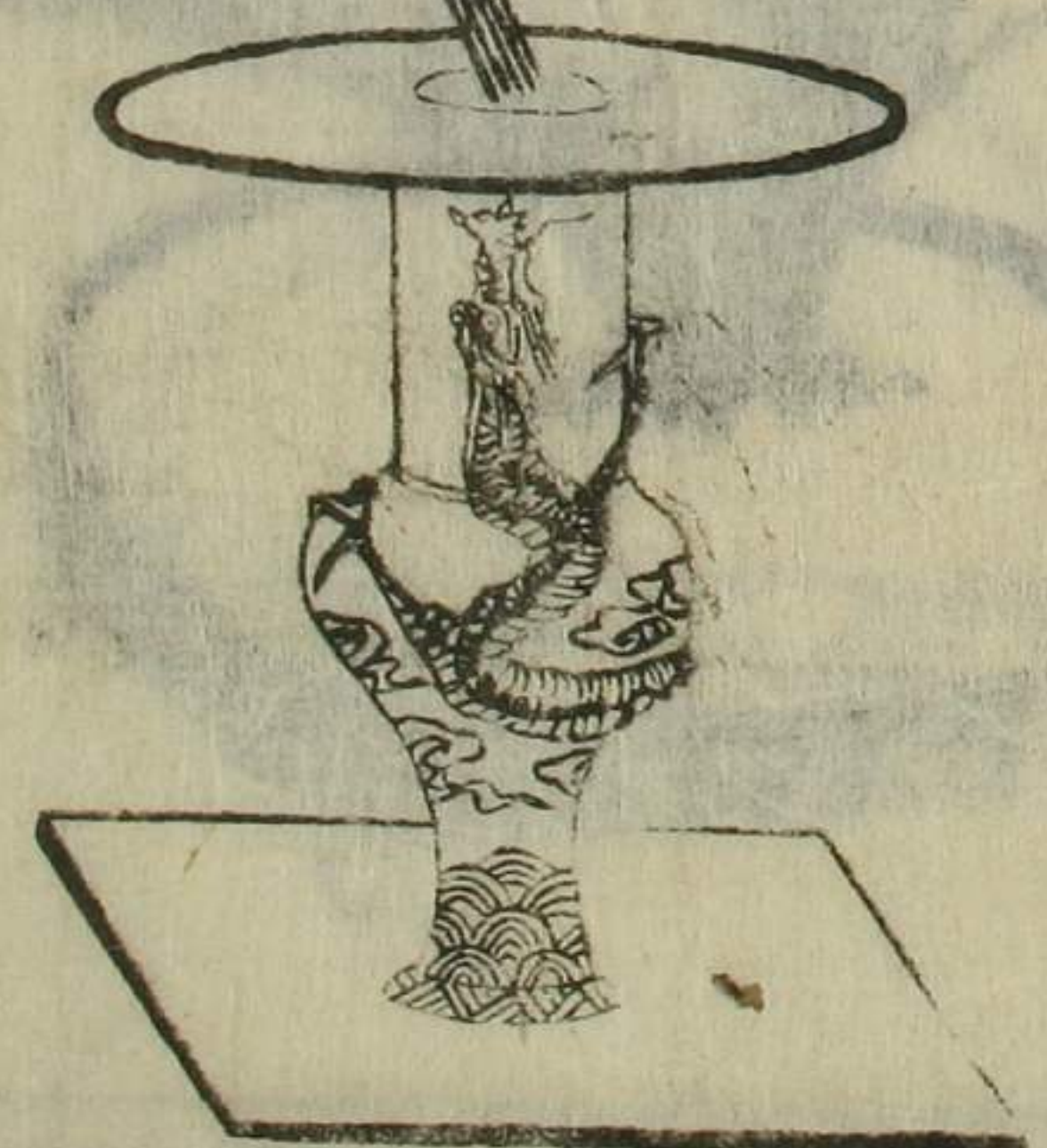
柏木一露口



大菊
六十五



関根一松



仙五十七



中野一松

五十七



高松齋
高橋一秀



五十二之牧
しらに

天松齋
米二馬五

鳥

萬物應時而有流行之
 變化也插蒼之風體古
 今不一流、派、不同
 或可看野山水池之草
 木千種萬般造化自然

之差也能察其風姿之
大抵則知自然之風體
當自得焉頃日瓶茗流
成門者數十百家互相
臆論未識其是非各嘉

尚此道之盛而可學自
家之茗方勿必諍他矣
古來吾遠州家之風體
者茶席之挿茗而不敢
為巧於外粧近一變以

有艷色風情為美也應
時當如是焉然亦不可
違草木之性而加私意
是則瓶荃者流之所可
必守也花道之行于世

尚矣方今愈昌豈不可
喜尚哉時寬政十一歲
次巳未冬東都貞松齋
一馬溪龍寬篤跋挿荃
衣香並書



鈴木瀧洲先生著

温畫隨筆

全四冊

此書ハ國字ノ隨筆ニシテ雅俗ノ考証ヲカ子學問ヲ心カクルニ甚ク益アル故ニ博物家モ座右ニ置ベキ書ナリ

遊仙屈鈔

唐張文成作 學士伊時點 全五冊

此書ハ邦ニテ中華ノ小説ヲ譯解スルハ伊時ナルモノ神仙ノ譯ヲ得テコレヲ解ストイヘリ小説家必讀ノ書ナリ

忠臣銘々傳

粉色入 全壹冊

此書ハ赤穂の義士四十七個徳意の美徳を擧げて画工國考大人の氣流を

加藤在止翁著

太平國恩理談 全五冊

此書ハ近代を平國恩の意源流を以て自 身胸中のたのしみを述一人は吾れをむすの 徳意を外にあり文小書考の自在を以て 人心を感ぜしむる来好の士あるは懐 惚の非を痛みお訓の士は著述しんば利 けして名をこゝんとするのれひあらば 言に天下國家の幸愆づとう是小書もん やりおありびこ書あるは半紙経絡男 女老少ともに能く去成會得を身神 儒佛の靈縁を淨めたのけううる書 ちほりおふまをこゝんて書をもまが ぶし美小座右をこゝんて書をもまが ぶし

造物趣向種

全二冊

此書ハ氏神の祭禮他種は會或ハ物年 ちげのそのおもむきたるおもむき造物をこゝん 人とけりや時儀不可免り出来かゝるあり けし書をもこゝんて書をもまがぶし けりおもむきたるおもむき造物をこゝん けりおもむきたるおもむき造物をこゝん

同 貳編

近刊

和對照書札

前後全二冊

星池氏ノ書ノ尊養ナルヲ嘆賞スヘシ

三教童諭

全四冊

此書ハ三教童諭の入り小書を以て 趣向はよくおもむきたるおもむき造物をこゝん 趣向はよくおもむきたるおもむき造物をこゝん

古今武勇歌仙

小本 壹冊

此書古昔より武勇の名お名士ののれを 和歌と集めて六歌仙ふまは神代佐古昔 色手と歌をもち其首條はありしおもむき 趣向はよくおもむきたるおもむき造物をこゝん

梅室老人撰

題英叢句

全四冊

梅室老人の撰、古今の英叢句の自を集めて、題英叢句とす。其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。

好華堂主人著

女重寶記

小本

全一冊

女重寶記、女重寶の事、其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。

前北齊田老人画

繪本彩色通前後二冊

繪本彩色通、前北齊田老人の画、其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。

同

三編

近刻

古本多、其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。其の巻目、一、二、三、四、の四冊あり。

書

京都寺町通佛光寺

河内屋藤四郎

江戸日本橋通壹丁目

須原屋茂兵衛

同 貳丁目

山城屋佐兵衛

同 貳丁目

須原屋新兵衛

同 本石町十軒店

英 大助

同 浅草茅町貳丁目

須原屋伊 八

同 芝神明前

岡田屋嘉 七

大阪心齋橋通博愛町

河内屋茂兵衛

同心斎橋通本町角

河内屋藤兵衛

林

